



第18話 4人のインターン生

の春も4人のインターン生を受け入れて、2カ月間いろんな活動をともにしました。

3・11の追悼会や福島の話をする機会も多かったのですが、原発事故の問題にも自然と関心を深めるようになり、未来の政策を考えるコンテストでは、再生可能エネルギーを増やすための政策を一生懸命4人で勉強して、発表してくれました。

この1年、新型コロナで大学生活が希薄になっていたのですが、学生たちにとっていい経験

だったようですが、私にとっても4人が仲良くなれる姿が微笑ましく、励みとなりました。



違う大学、学部から集まった4人でしたが、チームワークがよく、いろんなことに挑戦しました。

オンラインもいいけど

イラスト:森シホカ



おおつかあいプロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保護受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート [第18号]
発行: 2021年4月(2021年2月議会報告)
最新情報を発信しています
Facebook: みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
みどり岡山ホームページ:
http://midori-okayama.org

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808
e-mail:ai.raku@shokan.jp

大塚愛

県政レポート(2021年4月発行) [第18号]



藤の花言葉: 優しさ、歓迎

いっぽ通信

P.02-03 選択的な夫婦別姓の制度

- P.01 原発事故から10年、この人災を決して忘れない
- P.02-03 おもな活動記録から「より安全な学校給食」「SDGsカードゲーム」
- P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき (2021年1月~3月)



みなさま、こんにちは。
み 今年は、東日本大震災と原発事故から10年になりました。当時、福島原発から数十キロのところに住んでいた私たち一家は、3月11日の夜に原発の異常を知り、愛しい我が家を後にし、避難をしました。翌日に1号機の爆発を知った

瞬間は、世界の終わりを迎えたような気持ちでした。先日、民俗学者の赤坂憲雄さんの記事に「あのときに多くの福島の人々が『死』を体験した」と書かれていたのを読みました。一見なにもなかったかのように辛抱強く復興に向かう福島で、心の中では多くの人が深い喪失、無念を感じ

てきたのだと思います。遠くは200キロ離れた関東まで拡がった放射能汚染。ふるさとを失い、生業を傷つけられ、被曝の不安を抱えさせられたこの人害を、私たちは決して忘れてはいけな



震災避難した年から9年半もお世話になった保育園を、この春次女が卒園しました。大きな銀杏の木のある園庭にて。

国は温暖化防止のためにカーボンニュートラルを目指して、2030年までに二酸化炭素を半減させる方針を打ち出しています。国はまだ原発という危険な選択肢を温存していますが、それに頼らないためには、省エネと再エネをいかに進めるかにかかっています。住宅や自動車、ビルや工場など、さまざまな分野で省エネ技術を使って、エネルギー消費量を減らした上で、必要な電気を再生可能エネルギーでまかなう。そのために岡山県で出来ることを一歩ずつ進めたいと思います。



3月11日、14時46分。黒住教本部神道山の日拝所にて、黒住教、金光教、カトリック、仏教など6教団によるRNN東日本大震災慰霊祭が行われました。毎年この日はここから東に向かって祈っています。

日々のうごき

2021年1月~3月

1.7 NPOここのさとのお話

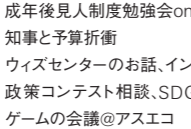


- 1.9 加茂川ホリデイフォレスト
- 1.10 学校給食の街頭署名活動
- 1.11 大野いり川つくりとんど祭
- 1.12 たけべ中学だっぴ反省会
- 1.14 カフェ打ち合わせ@岡山御津高校
- 1.15 常任委員会(環境文化保健福祉)、財政勉強会
- 1.17 大井地区連合会第二回勉強会



- 1.19 福島原発おやかま訴訟本人尋問、たけべ家おこしプロジェクト
- 1.20 エネミラ廣本さんのお話、いっぽ通信プラス収録
- 1.21 聖武福祉会のお話、白井信雄教授とのお話online
- 1.22 常任委員会
- 1.23 手話講座@建部町公民館
- 1.25 特別委員会(教育再生・子ども応援)
- 1.26 居場所カフェ@岡山御津高校、DV加害者教育セミナーonline
- 1.27 学校給食についての意見交換@岡山市議会、朝日新聞取材
- 2.1 常任委員会、地域公共政策セミナー
- 2.2 五城村工事
- 2.4 地域新エネ導入推進(EV)オンラインセミナー
- 2.5 予算総括協議会、神奈川県女性議員との懇談online

2.6 保育園連合PTA委員会、成年後見人制度勉強会online



2.2 五城村工事

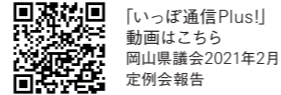
- 2.8 知事と予算折衝
- 2.9 ウィズセンターのお話、インターンの政策コンテスト相談、SDGsカードゲームの会議@アスエコ
- 2.11 フラワーデモ@岡山駅
- 2.12 子ども家庭課ヒアリング
- 2.15 常任委員会、政策推進課ヒアリング
- 2.16 特別委員会、3・11への祈り実行委員会、たけべ新聞取材
- 2.17 KTCおおぞら高等学院オンラインだっぴ、居場所カフェ
- 2.18 備前中学校オンラインだっぴ、エネミラ勉強会、
- 2.19 ストック性暴力の会@操山公民館 強度行動障害のお話、岡山市移住定住支援協議会オンラインカフェ
- 2.20 県政市政オンラインおはなし会、シティキャンパス発表会 @後楽館中学校
- 2.21 リノベーションお手伝い@高梁



- 2.22 2月議会開会、学校給食署名提出@岡山市教育委員会、自伐型林業ワークショップ見学@大井
- 2.24 子ども家庭課・新エネルギー温暖化対策室ヒアリング、有機米使用のお話@御津学校給食センター
- 2.26 代表質問(高橋議員)、河川課・産業振興課ヒアリング
- 2.27 七草粥@竹枝



2月議会の代表質問から(2021年2月26日)



「いっば通信Plus!」
動画はこちら
岡山県議会2021年2月
定例会報告

性犯罪・性暴力の被害者支援について

Q. VSCO(被害者サポートセンターおかやま)では、2013年から性犯罪や性暴力の被害者相談を担ってきました。近年は若い世代からの相談が多く、かつ警察への相談をためらう方も多いため、民間組織によるきめ細かい支援はますます必要になっていきます。より多くの産婦人科などの医療機関との連携協力も必要ですが?

A [知事]. 被害の発生直後に緊急対応を行っていただける産婦人科病院を拡充していけるよう取り組み、連携会議を通じて医療機関、弁護士、警察などが関係強化をしていきたい。

ひとりで悩まないで
あなたが望まない性的な行為
それは性暴力です

性的な暴力は身近な人や夫婦・恋人の間でも起こります。「おかやま心」に話してみませんか。

秘密は守ります。専門の相談員が相談に応じます。ご本人の意思を尊重します。

性暴力被害者相談専用電話
相談・支援は無料 **086-206-7511** (平日10:00~18:00 | 相談は24時間受付可)

全国共通フリーダイヤル **#8891** (24時間受付可)

性暴力被害者支援センター「おかやま心」
岡山県

身近な人や夫婦・恋人の間であっても、望まない性的な行為はすべて性暴力です。学校の女子トイレにもステッカーが貼られます。

Q. 中高生など若年層に伝える際には、相談窓口だけではなく、デートDVを防ぐための教育や適切な性教育とあわせて伝えることで、理解が進み、相談支援に繋がりがやすくなると思います。また周知の仕方について、高校生などの意見や視点を活かした方法を考えてはいかがでしょうか?

A [知事]. デートDVや性教育の場を通じて、ワンストップ支援センターについての情報を伝えていきたい。また、高校生が若者向けのステッカーなどの作成に参画できることは効果的なので、関係部局で連携していきたい。

海ゴミ対策

Q. 海ゴミは、川から流れこむ生活系ゴミが大半で、瀬戸内海域に流入するゴミは、年間4,500トンとも言われています。昨年末には、日本財団と岡山県を含む沿岸4県が「瀬戸内オーシャンズX」事業の協定を結び、今後5年間で「海への流入量を7割削減、回収率を1割以上増やす」としています。海ゴミを減らすには、河口部に溜まっているゴミを回収して、海に流れ出ないようにすることが重要ですが、市町村との協議やボラ



笹が瀬川、倉敷川などの河口部に溜まっている沢山のプラスチックゴミ。海に流れ出る前に、効果的な回収を進めなければいけません。

ンティア団体への支援などに取り組む必要があるのでは?

A [知事]. ゴミの発生抑制に加えて、回収も重要なので、ご提案を参考に「海ゴミ対策連絡調整会議」において効果的な取り組みを検討していきたい。

「選択的夫婦別姓制度の導入について」 反対する陳情に反対!

2月議会に「選択的夫婦別姓制度の導入に反対する意見書を国に出すべきだ」という陳情が出されました。これに対して自民党県議団は採択、それ以外の会派は不採択を求め、採決にあたって討論が行われ、会派を代表して登壇しました。当日は朝から採択反対を訴える方達がたくさん県議会前のスタンディングと傍聴に来られ、テレビや新聞の取材も多く詰め寄せました。

この制度はその名の通り、夫婦別姓にする選択を認めてよいとする制度です。同姓がいいと考える夫婦は、これまで通り同姓にすることが出来ます。別姓を望む夫婦は、これまでは「通称使用」か「入籍しない事実婚」

を選ぶしかなかったのですが、それでは様々な不利益がありました。また、約96%の夫婦が男性の姓を選んでいる現状では、女性の方がより多くの不利益を被っており、国連の女性差別撤廃委員会からは度々是正勧告を受けてきたという経緯があります。

県民意識調査によると、「夫婦が別々の姓を名乗ることを認める方がよい」と考える割合は年々増えており、昨年度は賛成が反対を上回る結果となっていて、若い世代ほど賛成と考える割合が高くなっています。

このように多様性を認めようと変化してい



「拙速な反対の意見を県議会の総意として提出することはやめていただきたい」と、反対討論に登壇。

く時代に、まるでそれに逆行するような意見書が、県民を代表する県議会の総意として提出されることは大変残念なことで、今回の自民党県議団の拙速な判断に大きな疑問を感じています。皆さんはどうお考えでしょうか。

新年度事業について

インクルーシブ教育

11月議会で質問したインクルーシブ教育について、今年度は新しい事業が行われます。

高校では、すべての県立高校に支援学

ウハウの普及に取り組まれます。

発達障がいのある生徒はこの10数年で増えつつありますが、個々の特性を理解した対応や合理的配慮はまだ足りていません。これらの事業を通じて先生方の専門性が向上して、学校がより居心地よい場になってほしいと思います。



農薬の水質調査

県の環境保健センターでは、旭川など県内4地点で農薬類の環境モニタリング調査を行っています。337種類の農薬に加えて、新たにネオニコチノイド系農薬(8成分)の分析方法が開発され、今年度から調査されます。今後はグリホサート(ラウンドアップの主成分)も調査できるよう研究していきたいとのことです。

岡山市に学校給食の署名提出

たねをまもる会おかやま
(2月22日)

子ども達の健康やすこやかな発達のために、学校給食に無農薬農産物や地元産小麦を使ってほしいという要望を、10,378筆の署名と共に岡山市教育長に届け、同様の陳情を岡山市議会にも提出しました。昨年からの市議会の各会派の皆様とも意見交換を重ねてきましたが、無

農薬栽培の生産量がまだ少ないことなど課題もありますが、現在は外国産小麦で作っているパンをより安全な岡山産小麦に



10,378筆の署名を教育長に提出し、減農薬米を導入した今治市などの事例もお伝えしました。

おもな「活動記録」から

変えていく、定期的に有機農産物を使う日を作るなど、今から出来ることもあるのではと話しあうことができました。市議会では全会一致でこの陳情が採択され、メンバー一同とても嬉しい一歩でした。今後も、市や農家の方と意見交換していきたいと思えます。*詳しくは、たねをまもる会おかやまFacebookページをご覧ください

SDGsカードゲームの見直し作業 (2月9日~3月26日)

子ども達が楽しみながら、岡山の地域課題を自由な発想で解決していくアイデアを出しあうカードゲームが昨夏作られました。持続可能な社会のための目標SDGsの各ゴールに沿って、実際に岡場で

起きている課題(海ゴミや温暖化、貧困や女性の働き方など)を分かりやすい言葉でカードに示し、子ども達は配られたリソースを使って解決策を考えます。第一弾で作られたカードを県庁の担当課に見てもらい、行政の視点をより反映させたものにしたと考え、大学生たちと2カ月かけてヒアリングを行いました。様々なお話が聞けてよい勉強になりましたし、県の職員さん達にもSDGsについて考える機会になったのではと思います。このカードゲームは、県内の

小中学校で人気があるようで、今後の活用も楽しみです。
*カードゲームについては県環境保全事業団アスエコまで



水道の老朽化の課題について、県職員から話を聞く大学生。